

浅間山麓

未来への 遺産

VOL.54

牧水 御代田に立つ



牧水最後の旅姿(43歳、没年の昭和三年の写真)

「十月十四日午前六時沼津発、東京通過、其処よりM、Kの両青年を伴い、夜八時信州北佐久郡御代田駅に汽車を降りた。同郡郡役所所在地岩村田町にある佐久新聞社主催短歌会に出席せんためである」

若山牧水著『みななみ紀行』より

歌人若山牧水が御代田の地に降り立ったのは、大正11年、牧水37歳の折であった。現在は、新幹線を乗り継いで沼津から御代田まで3時間、12時間以上かかった当時とは隔世の感がある。

幾山河こえさりゆかば寂しさの

はてなむ国ぞけふも旅ゆく

牧水といえば「旅」という言葉がうかんでくる。牧水の生涯は旅そのものであった。わが子にも旅人と名付けたほどである。牧水の旅はふるさと九州から本州、北海道、遠く朝鮮半島にもおよんだ。信州にも幾度か足を運び、御代田、小諸、佐久、松原湖、果ては千曲川の源流川上にも足を伸ばした。

10月からはじまる企画展では、牧水の佐久での様子や歌を堪能していただく予定である。



牧水の歌

企画展 牧水 幾山河

■10月1日(日)ー11月26日(日)まで ■浅間縄文ミュージアム 企画展示室

御代田町の人口(9月1日現在)

●人口 14,186人(先月比+25) 男7,114人 女7,072人
●世帯数 5,452世帯(先月比+12) ●外国人登録者数 807人

みよた広報 やまゆり ●発行/御代田町 〒389-0292 長野県北佐久郡御代田町大字御代田 2464-2 ☎0267-32-3111



みよた広報やまゆりは、資源保護と環境保全のため、古紙配合率100%再生紙と大豆油インキを使用しています。